



京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催公演

みやこで 常磐津を 楽しむ

平成19年6月30日(土) 開演14時 開場は開演の30分前

京都芸術劇場 春秋座 「京都造形芸術大学内」

□全席指定—一般3000円／学生&ユース1500円／当日各500円増

□チケット発売—平成19年4月20日(金)

松島

主な出演者

*常磐津 文字太夫(十七代家元)

*常磐津 一巴太夫(人間国宝)

*常磐津 勘寿太夫

*常磐津 一佐太夫

*常磐津 三藏

*常磐津 都瓦藏

*常磐津 文字藏

*常磐津 八百二

舞踊 若柳 壽延(若柳流四世家元)

山村 若(山村流六世家元)

乗合船恵方万歳

積恋雪関扉

老松

みやこで 常磐津を 楽しむ

平成19年6月30日(土)

開演14時 開場は開演の30分前

京都芸術劇場 春秋座 「京都造形芸術大学内」



江戸時代のなかごろ(延享四・1747年)に生まれ、花のお江戸で大流行した常磐津節という音曲(音楽)。京都出身の創始者・常磐津文字太夫が江戸で二世を風靡して以来、こんにちにいたるまで情緒豊かで、ドラマチックな世界を展開し続けています。

劇的であることから、歌舞伎の舞踊劇とむすびついて発展しましたが、太夫と三味線の演奏による語り物としての浄瑠璃の醍醐味には圧倒されるものがあります。

今回は、常磐津の代表的な演目を中心に、素浄瑠璃としての常磐津と、舞踊の伴奏曲としての常磐津の両方を体験することで、常磐津節の魅力を探りたいと思います。

京都造形芸術大学 舞台芸術センター主任研究員 田口章子

□全席指定

一般——3,000円

学生&ユース——1,500円

当日各500円増

*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

*ユースとは25歳以下の方のチケットのことです。

*学生&ユース券は学生証もしくは年齢のわかるものをご提示ください。

□チケット発売

2007年4月20日(金)

□チケット取扱い

京都芸術劇場チケットセンター

窓口販売・電話予約

TEL 075-791-8240 (平日午前10時～午後5時)

メール予約

ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

電子チケットぴあ

TEL 0570-02-9999 / 0570-02-9966

(Pコード 375-912)

□企画

田口章子(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主任研究員)

□主催/お問合わせ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel 075-791-9437 Fax 075-791-9438

E-mail info@k-pac.org

URL http://www.k-pac.org/



京都芸術劇場 春秋座

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

交通アクセス

■JR「京都」駅・京阪「三条」駅・阪急「河原町」駅から
→京都市バス5系統「岩倉」行きに乗り、
「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)

■京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅・「北大路」駅から
→京都市バス204系統(循環)に乗り、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

■京阪「出町柳」駅から
→叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
→タクシーで約10分

■駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

プログラム

一 舞踊 松島

若柳 壽延
山村 若

浄瑠璃

常磐津 一佐太夫
常磐津 都代太夫
常磐津 和英太夫
常磐津 三代太夫

三味線

常磐津 都茂蔵
常磐津 都史
上調子
常磐津 小東矢

二 乗合船恵方万歳

浄瑠璃

常磐津 勘寿太夫
常磐津 清若太夫
常磐津 和洸太夫
常磐津 秀三太夫

三味線

常磐津 三蔵
常磐津 小欣矢
上調子
常磐津 三之祐

対談

十七代家元

常磐津 文字太夫

(聞き手 田口章子)

浄瑠璃

常磐津 一巴太夫
常磐津 和佐太夫
常磐津 菊美太夫
常磐津 巴瑠幸太夫

三味線

常磐津 八百二
岸澤 巳之吉
上調子
常磐津 祐二郎

三 積恋雪関扉

浄瑠璃

常磐津 文字太夫
常磐津 初勢太夫
常磐津 小文太夫
常磐津 二三太夫

三味線

常磐津 文字蔵
常磐津 斎蔵
上調子
常磐津 菊与志郎

四 老松